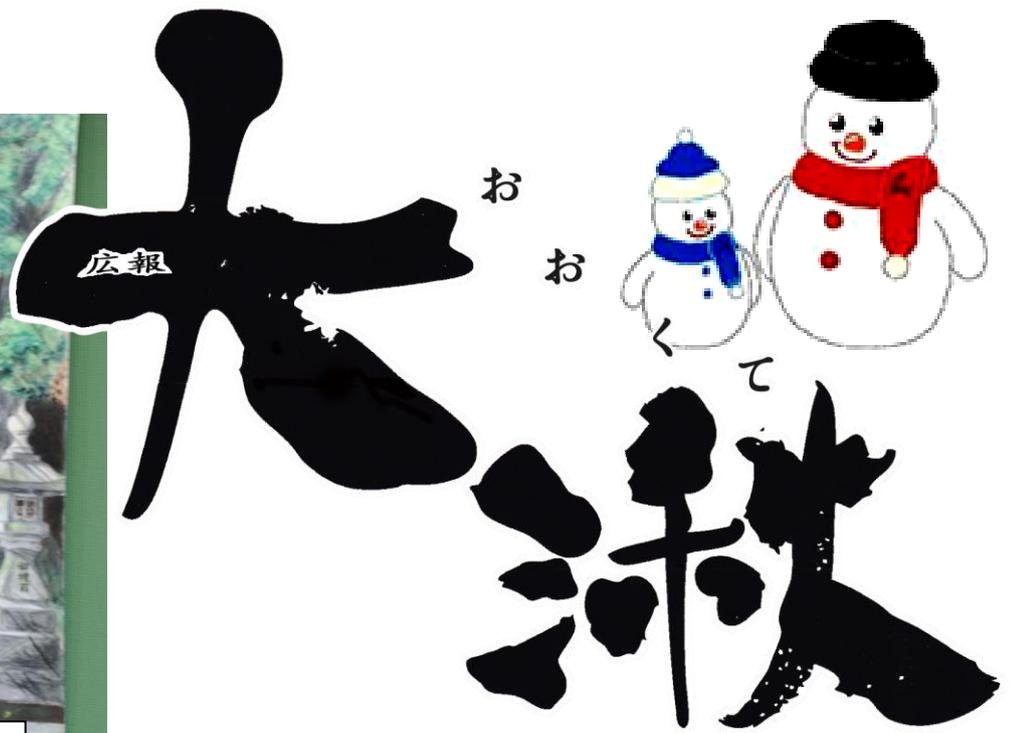


令和元年 12月  
第 401 号



白山神社(文化祭作品) 足立：作



おもな内容

- ・大湫町文化祭&収穫謝恩祭 …P2
- ・町内防災訓練 …P3
- ・市寿大学合同研修 …P4
- ・広報「大湫」で町おこし …P5



大湫町防災訓練 11/24 (日)

(夢づくり地域交付金事業

—防火水槽整備)

# 大湫町文化祭&収穫謝恩祭 11/3 (祝・日)



秋晴れに恵まれ、いつもより張り切っている方が多かったような・・・!



郷土作家（彫刻・陶芸）や幼・小・中学校の作品を始めとし、子ども会・寿大学の苔玉や寄せ植えなど町民の作品どれをとっても力作ぞろい。委員会や団体から出展された作品もそれぞれが思い描いた作品ばかり。



芸能の部では今年はじめて隣町の釜戸町から「釜戸フォーク村」の皆さんが懐かしい歌から持ち歌まで披露してください

ました。

今年が2回目となった「オープンカフェ」や「芋煮会」も大好評!!

そしてなにより、今年も地元からそして、瑞浪北中学校から夏祭りに続き「学生ボランティア」の皆さんが大活躍してくれました。

ご来場いただきました皆さん、学生ボランティアを始め、スタッフの皆さんお疲れ様でした。来年も盛り上げましょう・・・。



「釜戸フォーク村」の皆さん、ありがとうございます

みんな、頑張ったね・・・。上手だったよ

頑張ってくれた「学生ボランティア」の皆さんに拍手!



# 防災訓練に参加して

防災士 木村伸哉

翌週から、師走に入るといふ時期にしては、大変暖かかった日曜日（11月24日）、町の防災訓練が開催されました。今回は昨



年度の夢づくり交付金事業としてフェンス等の整備が完成した北区の小規模防火水槽のお披露目を兼ねてい

ます。地元消防団による放水で開始。私は地域の防災士として訓練全般をアシストさせてもらいました。温かい陽気だったこともあって70名を超える住民の方にご参加いただき、消防署および消防団のアドバイスによる初



るかわからない大規模地震などの災害への備えとして、大変有意義な訓練内容であつたと思えます。

日頃から、このような防災に関して活動している様々な人的ネットワークのつながり手を持つことが防災士の役割の一つに示されています。

今後「自助」「共助」の大切

期消火訓練。

みずなみ防災会伊藤会長から、災害時に備えた、非常食体験・ローリングストック等に関する説明を受けました。いつ起こ



さを意識し、皆様とともに地域の防災力アップを目指していきたいと考えます。

## 瑞浪市文化財指定

種類 史跡名勝天然記念物  
(植物)

名称 大湫白山神社  
お葉つきイチョウ1本



葉に実が付くイチョウ！  
樹齢200年を超える大切な  
イチョウの木です

## 市寿大学合同研修に参加して

向井保子

毎年行われている寿大学合同研修、今年も陶公民館の担当で信州に行ってきました。

大湫からは、5名が参加しました。総勢参加は40名、バス1台の団体です。11月13日(水)は、晴天で11月としては暖かい日となり気分よく出発です。



社に4本ある大きな御柱、重厚な建物。身の引き締まる思

いで、お参りしました。

原田泰治

美術館は、美しい日本の風景が、



心あたたまる筆致で、色あざやかに描かれていました。大湫にも似たような風景があるのに、慣れて見過ごしてしまっていた自分にドキリとしました。もつと新鮮な目で見方を変えれば大湫のいい所を発見でき、楽しくなるな

11月中旬となると、日の暮れるのも早く、明るいうちに帰りたいと言う声もあり、予定を早め無事帰路につき

ました。今回初めて参加して、勉強になりました。

## 十二月の俳句

山口雪子

鞍馬には遠き此の地に竹を伐る  
小春日や聞き上手となれぬまま

天野辰代

石路や空家のポスト乱れをり  
痺れ指の落とす編み棒糸編み

リ・アップ “ひよも” だより

12月のお茶のみ会のおさそい

日時：12月4日(水曜日)

9:30~11:00頃まで

場所：ふれあいセンター

参加費：50円

— お待ちしています —

大湫町コミュニティ推進協議会

## 広報「大湫」(おおくて)で

### 町おこしにはずみを

平成二十四年一月(二百六号)より名称を「大湫」と改名し、これが小さな町の広報誌かと、手にする人達がびっくりするような広報に生まれ変わったことを、創刊以来投稿を続けてきた者として嬉しく思っている。

表紙はカラー刷で写真も多く、親しみやすく工夫されており、大人から子供まで「私がいる」「来年も参加しよう」と、話題を提供している。

大湫宿の目玉となった「丸森」も、心温まる接待が好評で、再訪を楽しみに帰る人が多いとか。来訪者は北海道から九州まで見られ、昨今ではインターネットで調べて来たのか、海外よりの旅行者が多くなってきた。

七年後のリニアの開通が待たれる。

旧家の改修が進み、大湫宿として民宿の一軒ぐらいあってもよく、現状では無理でも、片手間にやる人があればよいと思う。

現在「かしわ屋」でみやげ物を販売する店が開業(第二・第四土曜日)しているが、手作りの物を販売する工夫が必要かと思う。「新森」の改修も市の計画にあつて期待しているが、地元の協力がますます必要となる。

「西森川」旧邸の活用も考えられているが、民宿として利用されたいと思っている。

「馬籠・妻籠」は一日にして成らず。今では著名な観光地となり、宿内は人で溢れるほど観光客が訪れている。

三十年程前、地域活性化事業として補助金を受けて「グリーン・ロード中山道」を立ち上げ、大湫・日吉の農家にみやげ物づくりを呼び掛けた。

当時、中山道を歩く人は少なく、みやげ物を並べても売れる見通しはなかった。それなら瑞浪中心部に「朝市」をと計画したが、高齢者と女性ではテントの準備が出来ず断念した。

「時よ、時節よ」で、地域活性化の切り札として「大湫宿」は息を吹き返して来た。市の支援を頂いて、町を挙げて町並み保存に取り組んでいる。復旧した旧家に希望居住者を招き、過疎化に歯止めをかけ、共に新たな居住者が町民となって町づくりに取り組んでいる。

そして、「旅」に「みやげ物」はつき物。収入に結びつけなくてはならない。

「若者、よそ者、馬鹿者」が、一体となって頑張れば必ず結果はついて来ると思っている。

文責 天野長三郎



## 陶板画からよみがえった想い出

大湫病院 額額富久

「広報大湫」11月号でご紹介していただきましたように、去る10月8日に小栗コミュニティ推進協議会長、足立区長会長の両氏に当院へ来院していただき、歌川広重らによる名所絵木曾街道六十九次の陶板画（中津川宿、大井宿、大湫宿、細久手宿等）を大湫町へ寄贈させていただきました。

この陶板画はご存知の方も多いと思いますが、旧管理棟（旧大湫中学校）の外來待合ロビーに飾ってあったものです。しかし、5つの病棟のうち2棟と管理棟などが老朽化したために、病院建設に平成18年7月に着手、平成19年11月に完成となりました。それで新たな外來、病棟診療体制となり毎日が無我夢中で、誰もがすっかり陶板画のことなど忘れていました。

そうした矢先に、恒例になっていた納涼祭で「集まろう会大湫太鼓クラブ」の演奏で使用する太鼓の搬送をもっとスムーズに準備できないものかと、数年前から旧管理棟に一時保管することになりました。久し振りに中に入ると走馬灯のように想い出がよみがえってきて、ここは薬局、ここは心理医療相談室など見回っていたところ、陶板画を見つけました。これを何とか人目に触れることが出来ないかと思ってきましたが、病院の一大イベントの納涼祭が終わるとすっかり忘れて、日々の業務に追われる毎日でした。それで今年こそはと思つて運び出し江口病院長に相談したところ、「現在の外來待合ロビーには飾るスペースも無く、それよりは大湫町に寄贈して、大湫宿を訪れる人達に喜んでいただければ何よりではないか」との返事でした。早速、今年の納涼祭に來賓として出

席していただいた、小栗コミュニティ推進協議会長はじめ、町の役員の方々にも見ていただき、区長会にて協議されて今回の寄贈の運びとなりました。

この陶板画は昭和58年に管理棟を増築した折に、故江口和夫理事長先生が自宅に飾っていたものを持ち込まれたものです。先代はとりわけこの地域の歴史に関心が高く、せっかく大湫にお世話になっているのに何も知らないのは残念だといった気持ちから、病院の前を通っている中山道を職員と一緒に歩いてみようとして「中山道歩こう会」と名付けて、平成4年の秋から歩き始めました。まずは町内からと郷土史に詳しい故足立利六先生に案内をお願いして、春・秋の年2回開催したところ参加者も増えていき、訪ねる場所も町内から市内、そして東濃全域となり当院のマイクロバスでの移動となりま

した。歩き始めてから20回を迎えた時「ふるさと東濃めぐり」（左図）

と題して、

平成11年

1月に足

立先生監修

のもと出版

の運びとな

り、大湫病院開院36周年記念の冊子

として全職員への配布と、開催間も

ない頃のさわやかウォーキングなど

で販売したことを思い出します。

また、陶板画と一緒に病院創立20

周年記念誌（昭和58年3月発行）も

見つけました。懐かしさのあまりそ

の場で紐解いていくと、大湫病院開

設に向けた経緯や日本の経済状況な

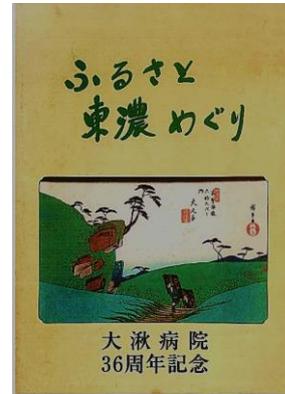
どが刻銘し記されており、とりわけ

懐かしい一文がありましたのでご紹介

させていただきます。

「大湫町内の諸先輩、故奥村弥造

さん、安藤鎮男さん、棚橋二郎さん、



足立名和さん、天野長三郎さん、安

藤秋義さんその他町内諸氏による、

創立以来の強力な御支援の賜物と厚

く御礼申し上げる次第である。最近

では、大湫町グラウンドの新設は瓢箪

から駒の思いがけない天恵であり、

今後大いに活用させてもらいたいと

思っている。大湫町民ばかりでなく、

大湫病院にとって、患者さんにとつ

て大変幸せな事であり、すばらしい

財産である。大湫病院に来て良かった

という財産の「ツダ」と先代の江

口理事長は綴られ、同じく故金森専

務理事は「一方建設の槌音は、昭和37

年9月に施工業者の選定、契約、10

月に着工、翌年春開院を目指して突

貫工事に入った。〃郷に入りては郷

に従え〃の例え、私自身はこの9月

に大湫に住民票を移した上で単身赴

任、現在の医局当直室（旧教員住宅）

に起居していた。この工事に従事し

た大湫町の方々とも、ここで裸のお

後日、寄贈した陶板画が公民館ロビーの図書コーナーや、大湫町文化祭で講堂に展示されていたことを江口病院長に伝えたところ、「理想的な病院運営としてはまだまだ程遠いが、患者さんにとって環境は十分である。そして内容も十分であると言ってもらえるような病院に行きたい。それには地域の皆様方の御協力が必要なので、今後もよろしく願いいたします」と話されていました。

皆様方ご覧いただいたことで、少しは肩の荷が下りたような気がします。

（瀨瀬 記）

付合いをした。飲めない茶碗酒の味を覚え、へボやらその他の珍味も教えられ、こうした交わりが出来たことが、以来20年間、大湫で病院業務を遂行してゆく為、役立つことが多かった」と記しています。忘れかけていた数枚の陶板画から、実に多くの想い出がよみがえりました。

## 偕老同穴の契り—大人の生物学

手元の国語辞典には「偕老同穴の契り」とは、「生きては共に老い、死んでは同じ墓穴に葬られる意から、夫婦仲睦まじく契りの固いこと」、と記されています。語源は中国の『詩経』。

この「偕老同穴（カイロウドウケツ）」は、海綿動物。スポンジとして使われるあの“カイメン”の仲間です。カイロウドウケツはガラス質の骨格がきれいで「ビーナスの花かご」（右写真は鳥羽水族館）とも、呼ばれています。日本では相模湾や駿河湾で生息しています。



鳥羽水族館の「飼育日記」によると、「(カイロウドウケツエビは)カイロウドウケツの中に雌雄ペアでいることが多く、一生をこの中で過ごします」。幼生の頃にカイメンの網目をくぐり抜けて中に入り、成長して体が大きくなるとカイメンから抜け出ることができなくなり、一生をここで過ごすことになるのです。過ごさざるを得ないのです。

「オシドリ夫婦」は偕老同穴の類語。このオシドリとは鳥のオシドリで、オスの美しさと「ペアが仲良し」であることで、よく知られています。だが、オシドリ夫婦仲の実態が鳥の研究者により解明。“お節介・やきもち”が研究者の興味に火をつけたのでしょうか？

調査によればオシドリがペアでいる期間は、1～3月（繁殖期前）と4～5月（繁殖期）の間。1年のうちせいぜい5カ月ほどです。この期間が過ぎるとペアは解消。つまり、同じ夫婦で一生を過ごすことはないのです。

調査はそれだけでなく次のような事実も明らかにしました。DNA鑑定によれば、同じ巣から孵った「ひなの父親が違う」ことが結構あると。浮気、間男…。

多くの鳥は繁殖期間を終えると、つがいを解消しますが、アホウドリは50年におよぶ生涯、一夫一婦。羽を広げると2mを越える大形の鳥です。人の怖さを知らずたやすく殺され、付いた汚名がアホウドリ…。羽毛採取のために次々撲殺され絶滅直前にまで。今は山階鳥類研究所が保護活動をおこなっています。

# 12月の丸森だより

11月24日まで

訪問者	町外		町内		合計	その内 (外国関係)
	大人	幼小中高	大人	幼小中高		
	1,421	110	92	18	1,641	99
					R1,4月～	8,023人
					オープンから	29,005人

## 10月のおもてなし

・インスタ映え・・・3日、10日、17日、24日に侍女・武士の姿に変身して宿内を往来



- ・JR さわやかウォーク・・・総勢 950 名ほど(釜戸駅で 843 人、ツアーの団体 3 グループ、車等)  
丸森からボランティアガイドを要請して 4 つの場所で定点案内をしたこと、  
侍女・武士の往来で華やかさを添えたこともあって素通りが少なかった。  
もう少しお店があったらの声も聞かれた。(丸森対応としては 700 人ほど)
- ・多治見のボーイスカウト・・・今回は中級グループが訪れた(春に初級のグループ)
- ・釜戸小 3 年、6 年・・・社会見学・歴史学習として訪れた
- ・団体・ツアー・・・17 宿ウォーク、埼玉、三河、福島、知多など 5 団体(約 130 人ほど)
- ・外国人関係・・・13 グループ、99 人、今年のツアーは 11 月 20 日頃で終了
- ・その他・・・さてらいと日吉(デイサービス)から

## 12月のおもてなし

12/10(火) 14(土)	朝日旅行のツアー	・細久手宿～十三峠へボランティアガイドの案内
-------------------	----------	------------------------

- \* 年末年始に向けての準備・・・12/28～1/4まで年末年始休館日
- \* 展示等・・・空間の飾りと、餅花
- \* 百人一首の集い(詳細は後日、HP 上にて公表)

# せら／＼お／＼ 2019年 12月の集まろう会

大湫町コミュニティ  
推進協議会  
集まろう会

☆ 12月の太鼓は・・・12月7日(土) 9時半～

太鼓と掃除と、お楽しみ会 (先日、日吉文化祭でごほうびをいただきました。使わせてもらいます)

○ 集合・・・大湫公民館。太鼓の後、床がきをします。雑布持参。その後、ふれあいセンターへ移動して、おたのしみ会をしよう。

△ 小さいお友だちも、みなさん集まって下さい。

△ 一年のふり返りや、気軽に、おしゃべりをしましょう。

△ 次の太鼓は――4月18日(第三土曜日)予定しています。

☆ ファミリー菜園は・・・それぞれ、思い思いの収穫がありました？  
手入れも大変でしたが、おしゃべりの輪も、できたようでした。  
さて、来年は、……これも相談しましょう。

☆ かしわや、営業 ――「オクテツクルテ」大にぎわいでした。  
みなさんのおかげです。ありがとうございました。

△ 営業日・・・12月14日(土)です。来年もどうぞよろしくお願ひします。



「日吉文化祭」がんばって太鼓たたいたよ・・・

オクテツクルテでの「かしわや」大盛況でした



サツマイモがいっぱいとれたよ！



# 12月の行事



## 門松づくり

日時：12月22日（日）  
午前9時から  
集合場所：長谷川宅作業場  
（準備のため）

## 大しめ縄飾りづくり

日時：12月15日（日）  
午前8時から  
場所：大湫公民館 講堂  
会費：500円（昼食代含む）

## 年越しそばづくり

日時：12月31日（火）  
午前9時から  
場所：大湫公民館 調理室



夜光タスキがあると安心だね！

## 大湫町越年マラソン

日時：令和元年12月31日  
集合場所：大湫公民館 駐車場  
集合時間：午後11時45分  
（コース）  
スタート→宿場通り→高札場前→農免辻  
→野田中井溝農道→ゴール（宗昌寺）  
\*小学生以下の方はご家族同伴をお願いします。

それぞれ詳しい事は、配布するチラシで確認してください。  
みんなで、師走を乗り切りましょう・・・！



## 融雪剤あります

利用の方は、今まで通り個数を書いていただきますようお願いいたします。場所は昨年と同じ所にあります。



寒くなるで困るね・・・

天気予報とにらめっこしなあかんわあ・・・！

道路が凍結すると怖いで、早め々に準備しなあかんねえ

# 大湫コミ・公民館からのお知らせ

## \*大湫宿お休み処

12月～R2.3月までの営業はお休みさせていただきます。

これからも、お客様に美味しい五平餅を提供できるようスタッフ一同努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。



## \*おしゃべりサロン「こぶし」(100円コーヒー)

12月営業日 第2土曜日のみです。間違えないように！

営業時間 AM9:00～AM11:00

営業場所 ふれあいセンター



## オススメ！大湫分室の本 『たたら製鉄の歴史』

角田徳幸：著

映画「もののけ姫」にも登場するたたら製鉄。舞台の設定は室町時代のようなのですが、日本の鉄の生産はいつから始まったのでしょうか。

出土品など様々な観点から推察します。

## 表彰者

禁煙ポスター作品展

優秀賞：瑞浪北中学校

2年 板橋茉里香さん

おめでとうございます



## 青色回転灯防犯パトロール

### 12月のパトロール予定者

12/月上旬：足立 亘,奥村 寛

12/下旬：三戸憲和,渡辺貴憲



月に2回パトロールしています！

## デマンド交通

利用者(大湫～日吉東部)

10月：38便 延べ63名

皆さん、もっと々利用してくださいね。  
利用者が少ないと、運行本数が減ってしまうかも・・・！



## 区長日記

イ活動の意義を再認識させられました。 区長会長 足立

秋の好日に開催されたオオクテ・ツクルテや町民文化祭、更にはJRさわやかウォークなど、賑やかに開催することができましたことは、関係者のご協力の賜物と感謝申し上げます。特に文化祭では、北中学校の生徒さんたちをはじめとする若いボランティアの皆さんが、献身的に行事を支えていただき大変心強く、また嬉しく思いました。

第四日曜日に開催しました町民防災訓練には、新装なった北区防火用水のお披露目もさることながら、日頃地域の安全安心を支えていただいている消防団の皆さんの消火活動の雄姿を町民の皆さんと拝見することができ、大変良かったと思います。

また、自治連合会の視察研修も、阪神淡路大震災の防災研修施設となり、淡路島の住民の方から、「日頃の自治活動が、災害時の救助活動に大きく影響しました。」との実体験をお伺いし、いつ発生しても不思議ではない「東海・東南海地震」など災害に対する備えの大切さ、コミュニテ

11月1日 文化祭会場準備

3日 大湫町民文化祭

7日 転入対策委員会

8日 定例区長会・幹事会

9日 長寿会花壇づくり

10日 戦没者追悼式

12日 区長会所有財産課税問題協議会

15日 丸森マネージャ―事業「米屋ナイト」

17日 JRさわやかウォーク・青少年育成県大会

19日 景観協議会ワークショップ

20日 自治連絡協議会県研修大会

22日 瑞浪市政功労者表彰式・文化財認定書伝達式

23日 神明神社新嘗祭

24日 大湫町民防災訓練・ひなたぼっこの集い

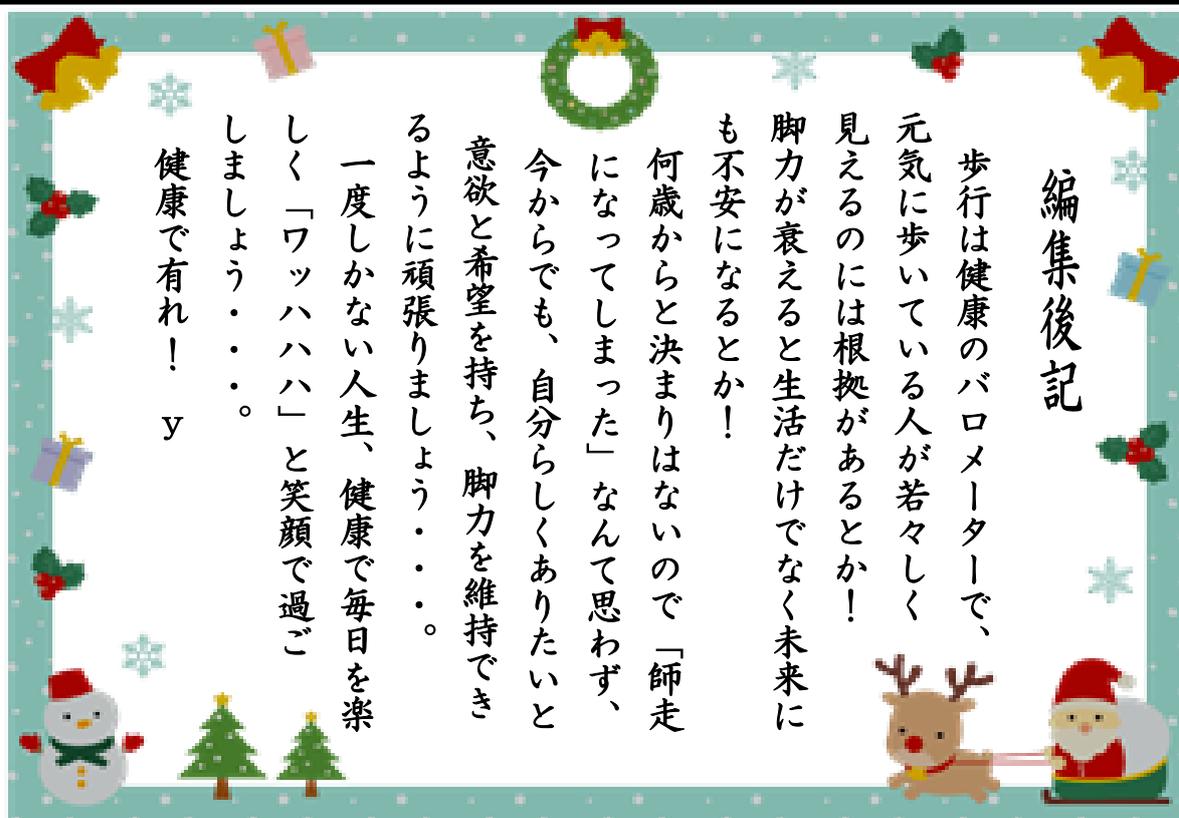
25・26日 連合自治会視察研修会

29日 連合自治会

令和元年十二月行事予定

日	曜	予	定
一	日	稲荷様入口近辺伐採整備	
四	水	リ・アツプ「ひよも」	
六	金	定例区長・幹事会 養蜂組合蜜源植栽	
七	土	集まろう会大湫太鼓練習	
八	日	景観先進地視察 北中学校「中学生と語る会」	
一	水	瑞浪北中学校合唱祭	
一	木	オオクテ・ツクルテ反省会	
一	土	おしゃべりサロン／かしわや営業	
一	日	大しめ縄飾り作り	
一	木	財産区議会	
二	日	門松づくり ふれあいセンター（大掃除）	
二	水	広報委員会	
二	木	小中終業式	
二	金	仕事納め	
三	火	年越しそば作り／越年マラソン	

今月の資源ごみ:12/18(水)不燃ごみ:12/5(木)



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会  
 令和元年12月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL0572(63)2360  
<http://okute-shuku.jp/>